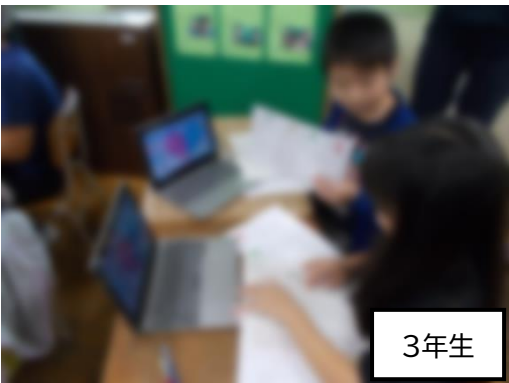
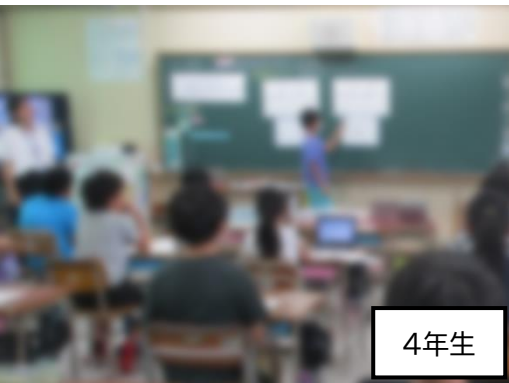


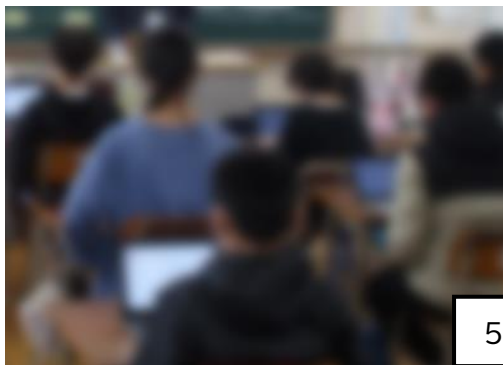
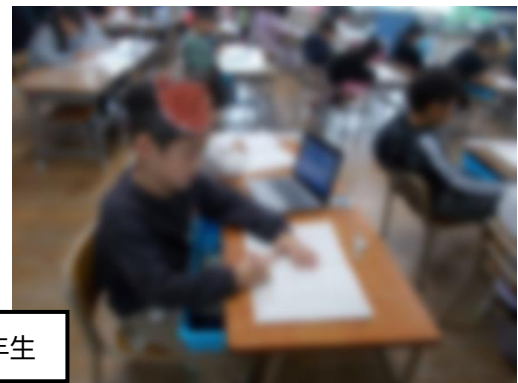
令和6年度学びチャレンジリーディングスクール実施報告書

学校名	北九州市立千代小学校	校長名	小椎葉 義明
令和6年度の 研究の実際	○ 研究主題 考えを深め・広げ・課題解決につなぐ教科等の取組 ～協働的な学びを通して自己の学びを言葉で振り返る児童の育成～ ○ 研究のねらい 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的(アクティブ)に学び続けようとする子どもの育成を目指す。 ○ 取組の概要 (1) 自分と他者の考えを関連付ける協働的な学びを行う		
	 2年生	 3年生	
	 4年生	 6年生	
	 やまもも学級	課題を自分事として捉え、それを解決するため、柔軟にまわりの人とかわる学びに取り組んでいった。自分と他者の考えを関連付け、各教科の見方・考え方を働かせた深い理解につなげていくことで、課題解決を目指していくようにした。	

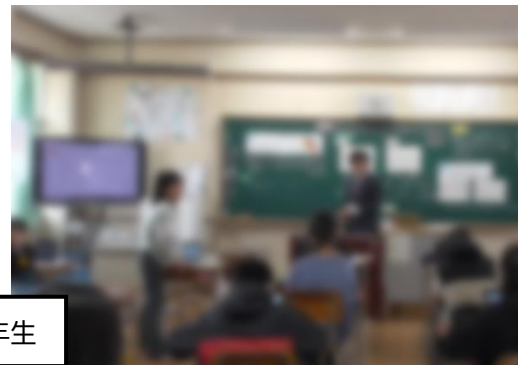
(2) 自力で「まとめ」と、学習や他者との関わりなどの「振り返り」を書く



1年生



5年生



重要だと思ったことを自分の言葉でまとめたり、学習内容や他者とのかかわりを通して「強化・付加・修正」されたことについて振り返ったりすることで、自己の学びや学び方をしっかりと捉えられるようにした。

(3) 学びの土台となる対話力の育成をする

○聞くスキル

低学年	中学年	高学年
話す人に体を向けて聞く 最後までだまて聞く	大切なこと（5W1H）を落とさずに聞く（メモをとる）	事実と意見を区別しながら聞く（メモをとる）
どんな内容かを考えながら聞く（「なるほど」、頷く等）	自分の考えと比べながら聞く（反応を示す）	話し手の意図をとらえ、自分の考えと比べながら聞く
わからないことは質問する（「もう一度言って」等）	どこがわからないかを具体的に聞く	

○話すスキル

低学年	中学年	高学年
聞き手に体を向けて話す		
聞き手の聞きやすい声で話す（声の大きさ、速さ等）		
その場にあった話し方で話す（声の大きさ、ていねい語）		
順序よく話す	つなぎ言葉をつかって話す	相手や場に応じた内容や言葉づかいで話す
理由をつけて話す	構成を工夫して話す	効果的な表現を用いて話す（引用、例示等）
	資料を指し示しながら話す（絵や図等）	必要な資料等を選び、示しながら話す
	大切なこと（5W1H）を落とさずに話す	

全学級に「聞くスキル」「話すスキル」を掲示し、計画的・継続的に指導していった。

令和6年度の
成果と課題

○成果

- まわりの友達と柔軟に話し合ったり、GIGA 端末を効果的に活用したりしながら学んでいこうとする児童が増えている。このようなかかわりを通して、課題解決に向って学習に取り組む児童の姿が多く見られた。

●課題と次年度にむけて

- より GIGA 端末を効果的に活用することで、児童の学びをもっと豊かなものにしていくことができると感じる。また、対話力もだが、基礎学力や語彙力の向上も目指して取り組んでいく必要がある。